

Feminist Library UKの「Herstory」

フェミニストライブラリUKは元々、Women's Research and Resources Centreとして知られ、1975年第二波の女性解放運動のなかで作られました。この時期は、多くの女性が性差別や抑圧に対して反抗・闘おうとし、フェミニストの自己組織化と抵抗を進めていく重要な時期でもありました。

こうした時代に誕生した当図書館は、ロンドンに拠点を置き、女性解放に関する文献、特に1960年代後半から1990年代の第二波女性解放運動に関するものを中心に、大量の資料を蒐集・保存しています。

図書館としてだけでなく、コミュニティそのものであり、調査や活動、各種のプロジェクトの展開にもサポートしています。

世界の女性・ジェンダー図書館めぐり

イベント

① コミュニティ・スペース・図書館スペースを有志がミーティングの場として使うことが可能です。ブック・クラブやミーティング、芸術・福祉活動も行われています。

② イベント、ワークショップ、社会的、文化的、教育的イベントを他の組織とも連携しながら開催しています。

モチーフ

ドラゴンは、偉大な母なる女神に関連するシンボルとして、女性原理と母系制を表しています。しかしこれまでのはよく、剣に突き刺される姿、すなわち家父長制が母系制にとつてかわるイメージで示されています。この図書館のドラゴンはもうこのような抑圧される役を演じず、丸まって本を読むようになり



紹介ポスターシリーズ第8弾：Feminist Library UK

利用にあたって

all genders、すべての方が対象です。

2022年1月からは木・金の11時-17時開館予定。

資料室は三つの部屋に分かれています。定期刊行物を置く部屋では、フィクション、ノンフィクションの両方を取り揃えています。さらに国内外のフェミニストグループによる700以上の完全版＋一部分のジャーナルやニュースレターを見ることができます。

コレクション

女性解放運動に関する文献と資料のほかに、1900年から現在までのノンフィクション5000冊。2500余りの世界各国のフィクション（主に英語、他にヨーロッパ、ラテンアメリカ言語など）や、有名無名（自費出版を含む）の女性による500程度の詩のコレクションも取り揃えています。

